モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行2026年10月31日
通算291号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

10 月 3 日（土曜日）クヌギの植樹予定地を整備し目印に竹の棒を立てる



ツルリンドウが可愛らしい花をつけていた

【参加者；池本、越智、梶川、芝田、鈴木哲、鈴木明、土井、中島、福森、森浜牧　　計 10 名】







11 月 8 日の「くぬぎの森づくり」に向けて植樹予定地を整備した。刈払機で草を刈り、刈り残したところや刈払機では刈りにくいところなどは鎌で丁寧に刈っていった。つまずいたりしないように切り株は地面すれすれまで切り、最後に箒で履きならした。

整備が終わったところで、植樹する位置が分るように２～３ｍ間隔に竹の棒を２０本立てて作業を終えた。

10 月 8 日（木曜日） クヌギの植樹地の草刈り

【参加者：越智、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜牧、山西　　計 9 名】

風が透きとおり、天が高く感じられる秋晴れの朝となった。暑さからやっと解放され作業も気持ちよくできる季節である。

今日は、長い間交流している「岸岡モリメイト」の儀賀さんと関さんが鈴鹿から作業に参加してくれ、クヌギの植樹地の草刈りを行った。11 月 19 日には「岸岡山緑地公園整備」の応援に行く予定である。



10 月 15 日（木曜日） 杉林･ビートルズベッドの整備

【参加者；　池本、越智、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜牧　　計8名】

ウルシの木が真っ赤に色づき真っ青な空に映えていた。
杉林の中の道の整備、除伐した木の片付け、ビートルズベッドに生えているササを根から引き抜くなどの作業を行った。



モリメイト会議

・「第 12 回くぬぎの森づくり」について
　植樹地の空きがなくなったので今回を最後とする
・12 月 13 日（日）実施の「落ち葉で腐葉土作ってカブトムシを育てよう」の手順書の検討




10 月 22 日（木曜日） チルホールを使ってコナラを除伐

【参加者；木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中森、山西　　計 7 名】

植樹地を日陰にしてしまう 2 本のコナラを、シイタケの原木にするにもちょうどいい太さなので伐ることにした。周囲にあるクヌギを回避するため、正確に倒す方向をコントロールできるチルホールを使用した。



初めに、ハシゴを使って伐倒木の高いところにベルト付きの輪っかを取り付けワイヤーを通した。次に、離れた木に取り付けた滑車にワイヤーを通して経由させ、最後に、チルホールを頑丈な木の根元にベルトで固定し、ワイヤーをチルホール本体に通した。前進レバーにパイプハンドルを装着して、準備完了。いよいよ牽引作業である。







チェーンソー担当とチルホール担当が呼吸を合わせ、コミュニケーションを取りながらワイヤーの張り具合を調整し、無事、木を倒すことができた。

最後に木の処理を行った。シイタケ栽培用の原木は 20 本とることができ、太い枝は薪用に、細い枝はチップ処理する予定である。







中森さんが今日からモリメイトに



10 月 29 日（木曜日） 敢国神社の植樹地の整備

【参加者；池本、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中森、森浜学、森浜牧、山西　　計 10 名】

新しく植樹する場所の整備をするために敢国陣所に行くと、今年の 2 月に植樹した四季咲きサクラがしっかり根付き薄紅色の愛らしい花を咲かせていた。

植樹地に行く途中、倒れる危険がある木があったのでまずその木を伐倒した。その後、放置され傷んでいた獣害対策用の囲いを取りはずし、網と枠に分けて処分できるようにした。









看板を立て、植樹する所の土を柔らかく

午後からは森林公園に戻り、今回で最後となる「第 12 回くぬぎの森づくり」の看板を立てた。その後、苗木を植えるところをスコップで掘り起こして土を柔らかくし、そこに、残材をチップにし腐葉土になったものをすきこんだ。植樹地の整備はほぼ完了である。



